

令和5年度 青梅市立新町中学校 第3学年 社会 年間指導計画 【指導者】久保 信敬

使用教科書 『中学社会 歴史 未来をひらく』(教育出版)・『新編 新しい社会 公民』(東京書籍)

学期	月	単元名と学習内容	評価規準 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	主な評価方法
1	4・5	歴史 第6章 二度の世界大戦と日本 (25時間)	①2度の世界大戦について、勃発の背景・要因・経過・影響等を、様々な情報から多面的・多角的に理解できる。 ②2度の世界大戦を引き起こした背景や政治的決定について、多角的・多面的に考察し、それに対する自分の考えを説明できる。 ③2度の世界大戦について関心をもち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。	【①知識・技能】 ・定期考査 ・小テスト 【②思考・判断・表現】 ・定期考査 ・授業プリント ・発表課題 【③主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント(振り返りも含む) ・授業中の取り組み
	6	歴史 第7章 現代の日本と世界 (15時間)	①終戦から現在に至るまでの出来事の概要について、世界の動きと関連させて理解し、その知識を身に付けている。 ②戦後の日本の歩みについて、政治・社会・思想等の変化について考え、戦前と比較しながらその違いについて説明できる。 ③地球市民として、世界的な視野と公正な歴史観をもとうと努めている。	
1	7	公民 第1章 現代社会と私たち (16時間)	①現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、その知識を身に付けている。 ②社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連付けて捉えたり、現代社会を捉える見方や考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。 ③現代社会を捉える見方や考え方を学ぶ学習課題に意欲的に取り組み、以後の公民的分野の学習に関心を深めている。	
2	8・9	公民 第2章 個人の尊重と日本国憲法 (22時間)	①人権尊重の考え方、社会生活における法の意義と法に基づく政治の重要性、日本国憲法の基本原理、天皇の地位と国事に関する行為について、憲法条文等を正確に読み取り、理解している。 ②日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、具体的な事例から課題を発見して様々な視点から考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③個人の尊重についての考え方と法に対する関心を高め、それらを意欲的に学習し、民主的な社会生活について考えようとしている。	
2	10・11	公民 第3章 現代の民主政治と社会 (22時間)	①国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者・地域住民の立場から理解し、その知識を身に付けている。 ②国や地方公共団体の政治、裁判に関する作業的・体験的学習を通して、学んだことや考えたこと、その過程や結果を適切に表現している。 ③国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、政治についての学習に意欲的に取り組んでいる。	
2・3	12・1	公民 第4章 私たちの暮らしと経済 (25時間)	①身近な事例を基に、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。 ②さまざまな経済的事象や日本経済の諸課題について、消費者や生産者、労働者、政府、納税者などの立場から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。 ③身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、政府の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸課題について意欲的に追究している。	
3	2・3	公民 第5章 地球社会と私たち (15時間)	①世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。 ②国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現したり、発表や討論などを通して考えを深めたりしている。 ③国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。	